

学生の 1/3 が社会科学系統に 学生の約 8 割は私立大に在籍

旺文社 教育情報センター 2020 年 6 月 1 日

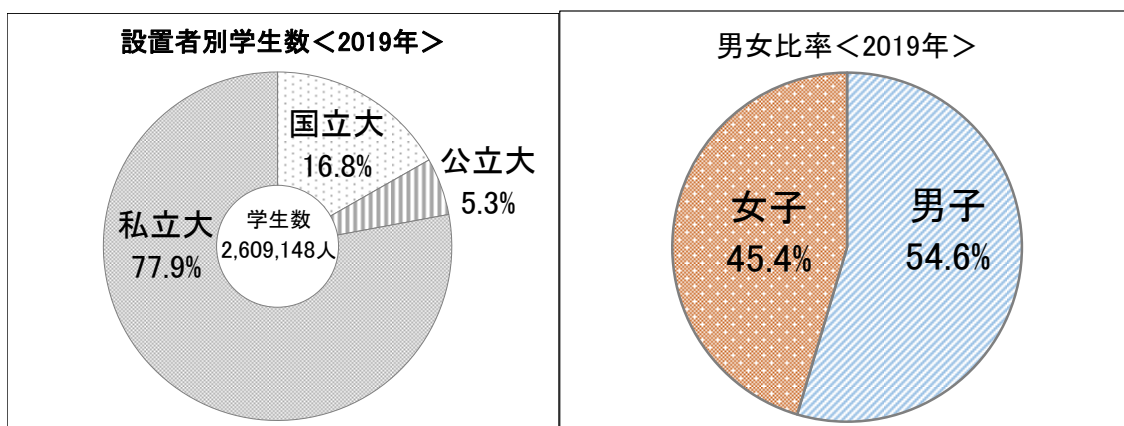
今、日本の大学に在籍している学生は何人くらいいるのか。男女の比率はどの程度なのか。またどのような分野系統の学生が多いのか。こうした学生数などの現状を、「2019 年度 学校基本調査」をもとに探ってみた。

* 本記事のデータは原則として「2019 年度 学校基本調査」(2019 年 12 月、文部科学省公表)による。

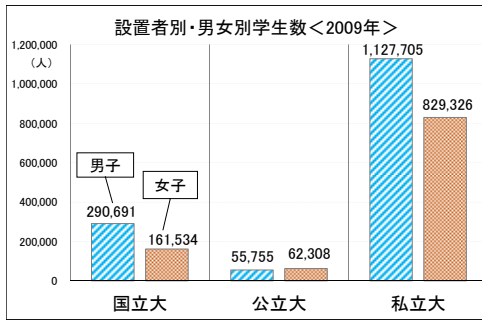
■男女比は、男子 55:女子 45。女子比率は 10 年前より約 4 ポイント増加

日本の学生数(2019 年度の学部学生数、以下同)は、2,609,148 人。これを設置者別に見ると、国立大 437,401 人(占有率 16.8%)、公立大 138,653 人(同、5.3%)、私立大 2,033,094 人(同、77.9%)となっており、私立大が約 8 割を占める。ちなみに 10 年前(2009 年度「学校基本調査」)の設置者別占有率と比較(2009 年度→2019 年度)すると、国立大 17.9%→16.8%(-1.1 ポイント)、公立大 4.7%→5.3%(+0.6 ポイント)、私立大 77.4%→77.9%(+0.5 ポイント)となっている。国立大の定員減少の一方、私立大の公立化による公立大数の増加、また私立大の定員増加による影響が大きいとみられる。

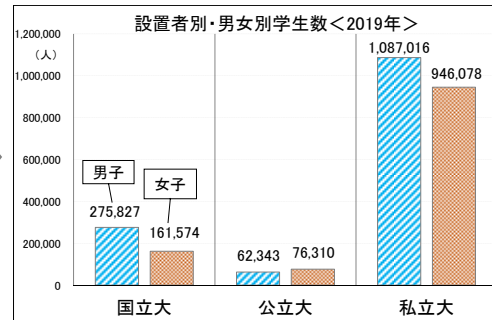
男女別では、男子 1,425,186 人(占有率 54.6%)、女子 1,183,962 人(同、45.4%)。こちらの占有率も 10 年前と比較すると、男子 58.3%→54.6%、女子 41.7%→45.4%と、各々 3.7 ポイントの増減となり、女子比率が増加している。



さらに設置者別に男女比率をみると、国立大が男子 63.1%、女子 36.9%、公立大が男子 45.0%、女子 55.0%、私立大が男子 53.5%、女子 46.5%となっている。男子の占有率を 10 年前と比較すると、国立大が-1.2 ポイント、公立大が-2.3 ポイント、私立大が-4.2 ポイントといずれも男子の占有率が下降し、女子比率が上昇、男女差が縮小している。



(2009年の設置者別学生数)

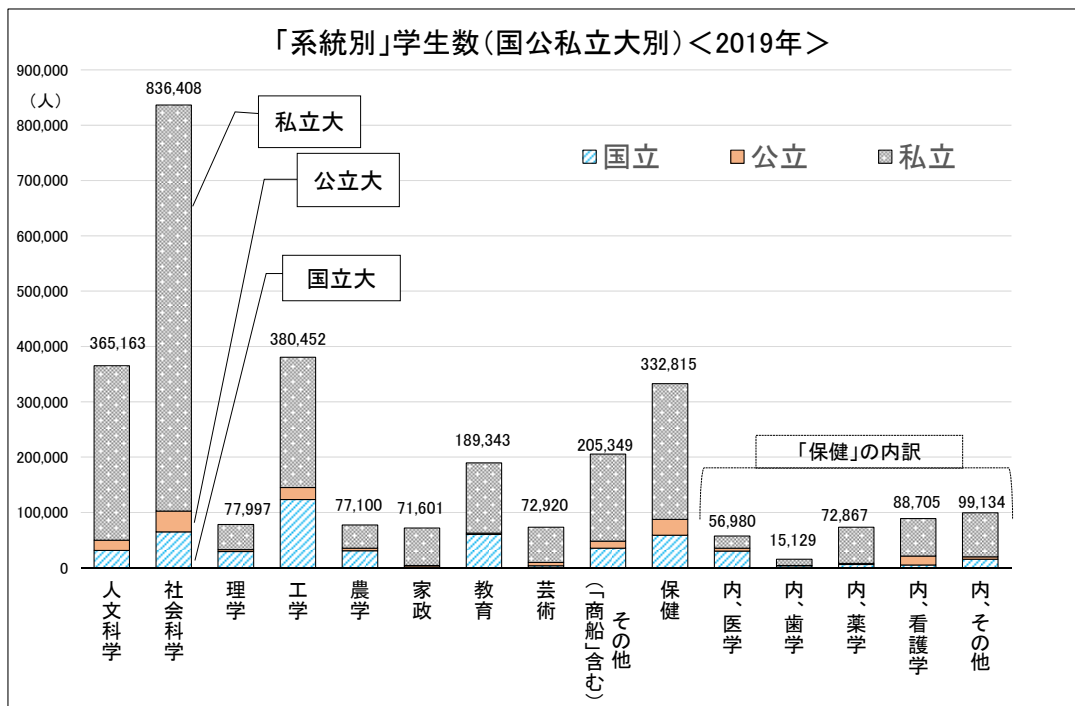


(2019年の設置者別学生数)

■ 系統別では、社会科学系統が 32.1%を占める

次に系統別（学校基本調査の分類による。分類は記事末に記載。）の学生数を多い順に、設置者別の特徴とともに見てみる。（以下、①～④は学生数の多い系統順）

- ① 社会科学系統は 836,408 人。うち私立大が 733,977 人で 87.8%を占める。さらに社会科学系統全体のうち、最も多いのは「商学・経済学」で 55.0%を占め、次いで「法学・政治学」が 19.0%となっている。
- ② 工学系統は 380,452 人。うち私立大が 235,390 人で 61.9%、国立大が 123,231 人で 32.4%を占める。さらに工学系統全体のうち、最も多いのは「電気通信工学」で 29.9%を占め、次いで「土木建築工学」が 19.2%となっている。
- ③ 人文科学系統は 365,163 人。うち私立大が 315,523 人で 86.4%を占める。さらに人文科学系統全体のうち、最も多いのは「文学」で 40.5%を占める。
- ④ 保健系統は 332,815 人。うち私立大が 73.7%を占める。なお保健系統を細かく見ると、看護学は 88,705 人で私立大が 76.1%、公立大が 18.3%。薬学は 72,867 人で私立大が 89.5%。医学は 56,980 人で国立大が 52.5%、私立大が 38.4%などとなっている。



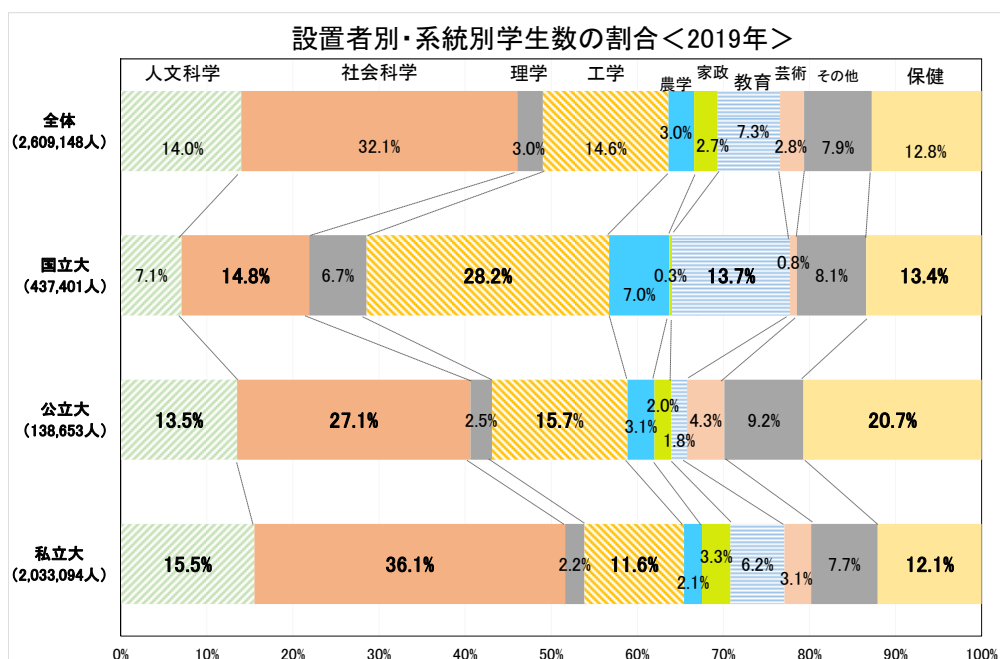
このように系統別学生数の割合では、社会科学系統が全体の32.1%、工学系統が14.6%、人文科学系統が14.0%、保健系統が12.8%などとなっている。これを、設置者別に学生数の多い順に系統の割合（設置者別での系統の学生数／設置者別の学生数）をみてもみる。

【国立大】工学系統＝28.2%、社会科学系統＝14.8%、教育系統＝13.7%、保健系統＝13.4%

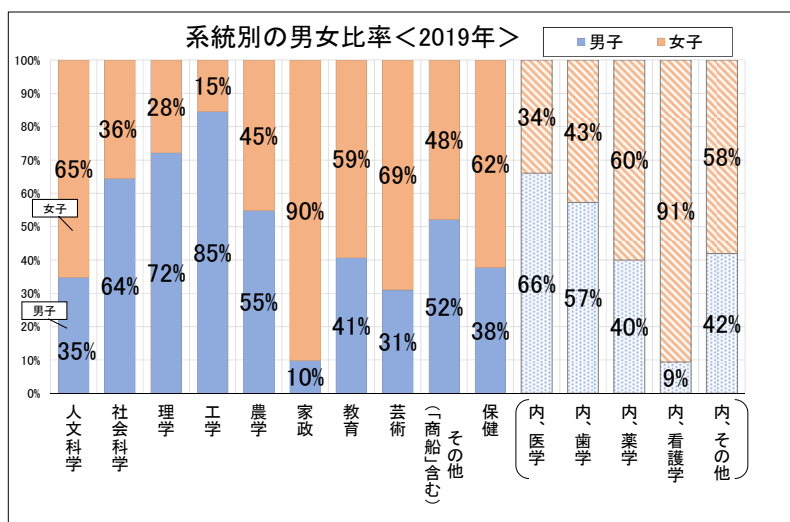
【公立大】社会科学系統＝27.1%、保健系統＝20.7%、工学系統＝15.7%

【私立大】社会科学系統＝36.1%、人文社会系統＝15.5%、保健系統＝12.1%、工学系統＝11.6%

国立大の工学系統、教育系統、公立大の保健系統、私立大の社会科学系統などの割合が高く、設置者別の特徴が顕著となっている。



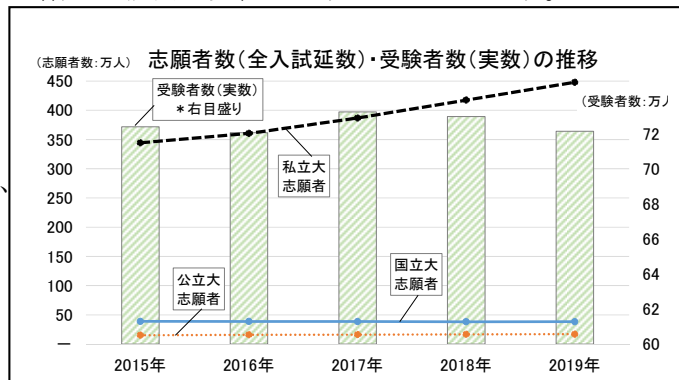
さらに各系統の男女比率をみると、工学系統、理学系統、社会科学系統などで男子が高く、家政系統、芸術系統、人文科学系統、保健系統、教育系統などは女子が高くなっている。また保健系統の中でも、医学は男子66%、看護学は女子91%となっている。



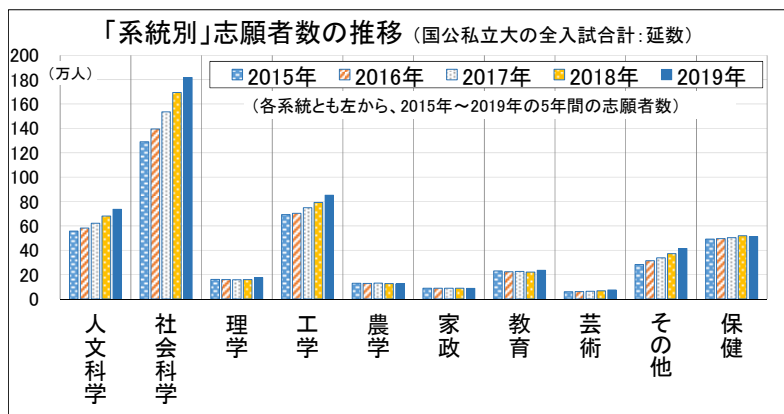
■ 志願者数：社会科学系統が5年間で41%増加

では、大学入学前の段階＝志願の段階での傾向の変化はどうだったのだろう。

前提として、志願者数（ここでは全入試の合計志願者）を5年前（2015年度）と比較すると、国立大はほぼ増減無し（1%減）に対し、公立大は12%増、私立大は30%の大幅増となっている。なお受験者数（実数）は減少傾向にあるものの、ほぼ同数で推移している。



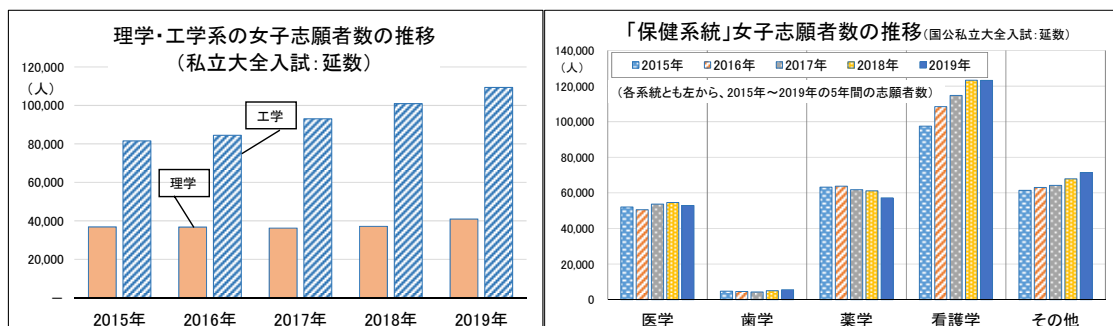
2019年度と2015年度の系統別の変化をみると、全志願者数の約9割を占める私立大の数値が反映され、社会科学系統が41%増、人文科学系統が32%増、工学系統が23%増となっている。なお、保健系統のうち看護系統は23%増。それに対し、薬学系統は12%の減少だった。ちなみに私立大のみの系統別の5年間の増減では、社会科学系統が43%増、人文科学系統が36%増、工学系統が29%増とより顕著な傾向が出ている。



<私立大女子の理系志向が顕著>

さらに私立大の志願者数（全入試）の変化の中で特徴的な、女子の理系系統の動向（2015年度～2019年度）について理学・工学系統と保健系統についてみる。

理学系統は5年間で11.0%増加、さらに工学系統は34.1%も大幅に増加した。保健系統では、学部増設の影響が大きく看護学系統が26.4%増加、また歯学も18.4%増加した。一方で、薬学系統は減少傾向が続き、5年間で-9.5%とほぼ1割の減少となっている。

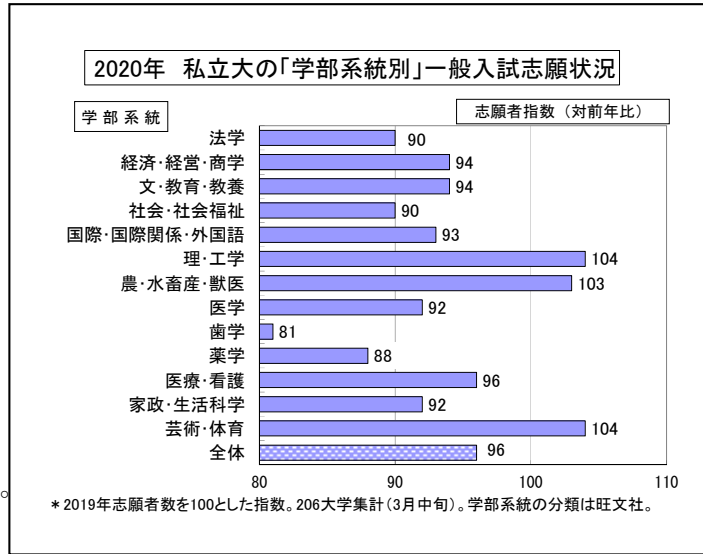


<私立大の一般入試志願者数：2020年度は志願動向の転換期>

2015年度から2019年度の系統別志願状況を見てきたが、2020年度での私立大の一般入試（個別試験＋センター試験）

の志願状況はどうだったのか。旺文社の分析でみてみる。ここ数年の難化と2021年の“新入試”を警戒した、“超安全志向”の出願となり、特に「高レベル・高倍率」のセンター試験利用入試は敬遠され、志願者が激減した。学部系統別では理工、農、芸術・体育を除き軒並み減少した。

（右図の「学部系統別」指数参照。なお、ここでの学部系統は旺文社の分類による。）

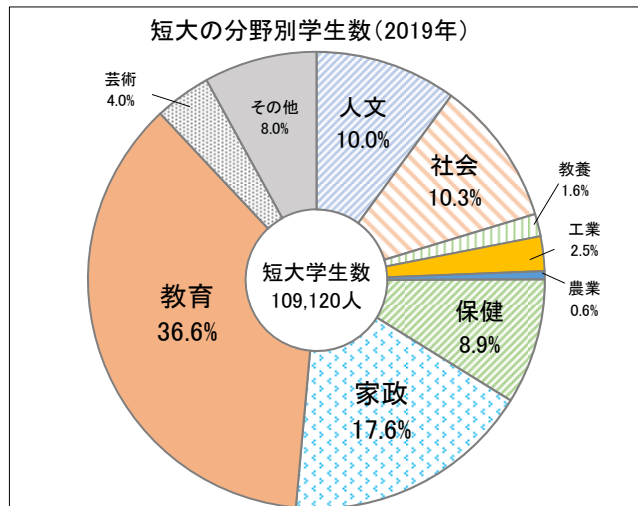
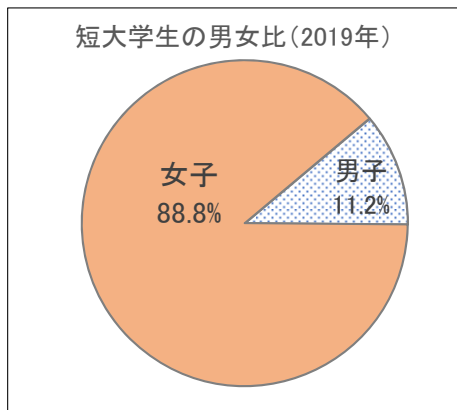


こうした傾向が、入学定員枠等には左右されるが、今後の系統別入学者数の変化にどのように反映されるのか。さらには2021年度の入試における志願～入学に関しては、新型コロナウイルスの影響による学校の新年度開始の繰り下がりや経済状況の悪化などで、志望校・志望系統の変更なども考えられる。2020年度に減少に転じた、特に社会科学系統で最多の「商学・経済学」の志願はさらに減少するのか、また人材育成が急務となっている工学系統をメインとするICT人材関連の系統は増加するのか注目である。なお、2020年度の入学状況などを調査した「学校基本調査速報」は例年通りであれば、8月に公表予定である。

■短大は教育系統が37%を占め最多

最後に短大の学生数（本科学生数）や系統別の特徴に触れてみる。

短大学生数は109,120人。うち約9割（88.8%）を女子が占める。4年制学部への移行や募集停止などで学生数は10年前に比べ約30%減少している。設置者別割合は、公立短大が5.1%、私立短大が94.9%となっている。



学科系統別（4年制大学の学部とは分類が異なる）では、教育系統が36.6%、家政系統が17.6%、社会系統が10.3%、人文系統が10.0%などとなっており、資格取得を目指す学科系統の学生数が多くなっている。

*なお、日本の大学数等に関する分析記事（旺文社調査による）はこちらを参照されたい。

<http://eic.obunsha.co.jp/resource/viewpoint-pdf/202004.pdf>

*本文中で使用した学校基本調査の「学科系統の分類」は次の通り。

●学校基本調査における「学科系統の分類」

【大学】

・人文科学＝文学、史学、哲学、その他／・社会科学＝法学・政治学、商学・経済学、社会学（社会事業関係を含む）、その他／・理学＝数学、物理学、化学、生物、地学、その他／・工学＝機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、応用理学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学、経営工学、工芸学、その他／・農＝農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、林産学、獣医学畜産学、水産学、その他／・保健＝医学、歯学、薬学、看護学、その他／・商船＝商船学／・家政＝家政学、食物学、被服学、住居学、児童学、その他／・教育＝教育学、小学校、中学校、高等学校、特別教科、盲学校、聾学校、中等教育学校、養護学校、幼稚園、体育学、障害児教育、特別支援教育、その他／・芸術＝美術、デザイン、音楽、その他／・その他＝教養学、総合科学、教養課程（文科、理科、その他）、人文・社会科学関係、国際関係学、人間関係科学、その他

【短大】

・人文＝文学、史学、哲学、その他／・社会＝法学政治学、商学経済学、社会学、その他／・教養＝教養／・工業＝機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、金属工学、経営工学、工芸学、その他／・農業＝農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、獣医学畜産学／・保健＝看護学、その他／・家政＝家政学、食物学、被服学、住居学／・教育＝初等教育、幼稚園教育、体育、その他／・芸術＝美術、デザイン、音楽、その他／・その他＝理学、秘書、その他

(2020.6 常盤)